

令和3年12月 播磨科学公園都市建設推進協議会（新都市協議会）

先端科学技術支援センター

令和3年12月15日（水）13時53分開会

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓あいさつ
- 4 協議・報告事項
 - (1) 次世代モビリティを活用した MaaS 実証実験について 【資料1】
 - (2) 交通結節・交流拠点グランドオープンについて 【資料2・3】
 - (3) 議員視察研修について 【資料4】
- 5 その他
- 6 閉会

委員（播磨高原広域事務組合議員）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 番 楠 明廣 | 2 番 木南裕樹 |
| 3 番 松本じゅんいち | 4 番 立花照弘 |
| 5 番 千種和英 | 6 番 小林裕和 |
| 7 番 高岸博之 | 8 番 横田 勉 |
| 9 番 田淵千洋（欠席） | 10 番 井口まさのり |
| 11 番 岡本義次 | 12 番 金谷英志 |
| 13 番 永富 靖 | 14 番 木村公男 |
| 15 番 石堂 基 | |

兵庫県、兵庫県企業庁の出席した者の職氏名

兵庫県企業庁次長 上田浩嗣	西播磨県民局副局長 円増万司
兵庫県企業庁地域整備振興課長 藤原信一	兵庫県企業庁企業誘致課長 谷口幸史
播磨科学公園都市まちづくり事務所所長 大西 薫	
播磨科学公園都市まちづくり事務所副所長 寺本達也	

説明の為に出席した者の職氏名

管理者 山本 実	副管理者 庵途典章
副管理者 梅田修作	事務局長 西谷一徳
総務課長 前田和孝	教育総務課長 井口大介
上下水道事業所所長 秋武英毅	

事務局出席職員

総務課課長補佐 早水 健
上下水道事業所副所長 赤松 憲

上下水道事業所副所長 潮海清貴
上下水道事業所管理係長 和田昌直

構成市町企画担当課長

たつの市企画財政部参事兼企画課長 家氏孝幸
上郡町理事兼企画政策課長 宮下弘毅
佐用町企画防災課長 江見秀樹

西谷一徳事務局長

失礼いたします。

定刻前ではございますが、皆様おそろいになられましたので、ただいまから新都市協議会を開催させていただきます。

皆様におかれましては、年末のお忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としましてマスクの着用をお願いしているとともに、机の上にはボードを置かせていただいておりますのでご了承のほどよろしく願いいたします。

また、大変申し訳ありませんが、ご発言の際には前にありますマイクのスイッチをお入れいただきご発言のほどよろしく願いいたします。

なお、本日、田淵議員から欠席の連絡を受けておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、当協議会山本会長がご挨拶を申し上げます。

山本会長、よろしくお願い致します。

山本 実会長（たつの市長）

皆さん、こんにちは。

寒さ厳しい折、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

また、年末の大変お忙しい中、議員各位におかれましては新都市協議会に引き続いて議会定例会へのご出席を賜り厚くお礼を申し上げます。

本日は、企業庁より上田企業庁次長様、西播磨県民局円増副県民局長様、地域整備振興課藤原課長様、企業誘致課谷口課長様、地元播磨科学公園都市まちづくり事務所からは大西所長様と寺本副所長様にご出席をいただいております。

限られた時間ではございますが、円滑な議事進行につきまして格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

西谷一徳事務局長

ありがとうございました。

次に、次第3の来賓挨拶といたしまして、兵庫県企業庁上田次長様よりご挨拶をいただきます。よろしくお願い致します。

上田浩嗣兵庫県企業庁次長

失礼します。企業庁次長上田でございます。

平素は、企業庁の事業に関しまして格別のご理解とご協力を賜っておりますことをまずお礼申し上げます。本来でしたら管理者の水埜がここに参ってご挨拶をするべきところですが、8月に政権交代がありまして、前管理者の片山が副知事に就任しました。その関連もありまして水埜管理者が淡路の夢舞台のほうの社長を兼任するという辞令がありまして、本日はそちらでどうしても動かさない会議がありますので代わりに私が挨拶させていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

12月の県議会が一昨日に閉会いたしました。斎藤県政のお話をさせていただきますと、躍動する兵庫へ向けまして新しいことに挑戦する社会、誰も取り残さない社会など5つの社会像を盛り込んだ新ビジョンを現在策定中でございます。県民ボトムアップ型県政をうたっております、職員がクリエイティブな仕事をつくる時間を設けるため、またスピード感を持って仕事をするために、これまでやっておりました重要施策の一次ヒアリングや予算査定などの時間を大幅に減らしました。

結果、我々も知事と面談する機会が減ってしまっていますが、昨日から北播磨でワーケーション知事室というのをやっております。テレビとか新聞でも報道されておりますが、月1回、12地区を回っていくと言っておりますので、そういう機会を使っていただいて知事に直接意見交換をしていただきたいと思っております。

あと、行財政の運営方針ですが、行財政運営方針1次案を近く知事のほうから発表する予定となっております。今後、パブコメ、審議会、委員会を経まして2月には最終案を議会に上程するという予定です。

内容は、財政運営と組織改正ということで、企業庁がなくなることはありません。財政運営に関しまして、企業庁は経営ビジョンとか総合経営計画に基づき各事業の黒字を生み出しながら自立・安定した経営改革を推進するというのがうたわれています。

特に地域整備事業については、まちの地域性を踏まえ、各地域の特性を生かしつつ地元市町との連携や民間手法を活用し機動的、戦略的な企業誘致、またレイアウトなどポストコロナ社会を見据えた宅地分譲を進めていきたいということとなります。

ということで、このテクノに関しましては一定事業用地の分譲も進んでまいりましたので、今後は県民局の横の用地や芝生広場の活用、さらに少し苦戦しておりますけれども住宅用地の利活用も検討していくことになろうかと考えています。

事業進度調整地域ということで、県民の起業ニーズや事業採算性を考慮の上、関係部局や地元自治体との理解と協力を得ながらその利活用を全面的な検討会議を開催して広く検討すること、ということがうたわれていまして、ここテクノでいいますと二工区、三工区等が対象になると思いますが、全体をすぐに開発ということは今のご時世難しいかと思うんですけれども、一定宅地が増えてきております。枇杷の谷の周辺は今後利活用を検討する俎上に上げていくようなことを考えております。

あと、テクノの魅力あるまちづくりにつきましては後ほど担当課長より詳しくご説明させていただきますが、西播磨のM a a Sの実証実験が先月末から地元市町の皆さんから既にご協力を得て始まっております。

あわせまして、光都のバスセンターの隣に待合所、コミュニティスペース、あとトイレを新設いたしました。バスの待合でありますとか地域の交流の場としてご活用いただけましたらと思っておりますし、バス停の隣にもともとあったビオトープ（池）が管理できておりませんでしたので、ここを掃除しましたので、また環境の学習の場でありますとか憩いの場としてご活用いただけたらと思っております。

あと、私の個人的なことを言わせていただきますと、企業庁にこの4月に参りましたけれども、その前は丹波土木に2年間おりました。その前4年間は県の道路企画課であつたり高速道路担当という

ことで県の高速道路の八連携軸なんかを担当しておりました。今日、ここへ来る前に時間がありましたので姫路・鳥取線を北のほうまで走らせていただいて見ておったんですけれども、当時、まだ山と田んぼだったところが、いよいよ完成したんだなということを実感いたしました。姫路から鳥取へのルートであるわけなんですけれども、ここテクノを起点に考えますと播磨自動車道を通じまして中国道、山陽道を使って全国へ行けるということで非常に便利になるのかなと期待しておるところでございます。

最後になりますけれども、今年度この播磨自動車道の開通を契機にさらなる魅力あるまちづくりや、ポストコロナ、ウイズコロナ社会を見据えたまちづくりに取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

西谷一徳事務局長

ありがとうございました。

それでは次に、次第の4、協議・報告事項に移らせていただきます。

当協議会の議事進行につきましては、本会会則第16条の規定により山本会長に議長をお願いしたいと存じます。

山本会長、よろしくお願いいたします。

山本 実会長（たつの市長）

それでは、会議次第によりまして議事を進行させていただきます。

なお、午後3時30分から議会定例会を招集しておりますので、午後3時15分にはこの会を閉じさせていただきたいと思っておりますので、限られた時間ではございますが会議の進行にご協力を賜りますようお願いいたします。

それでは、座って進めさせていただきます。

それでは、4、協議・報告事項の次世代モビリティを活用したMa a S実証実験についてと、交通結節・交流拠点グランドオープンについて企業庁より説明をお願いいたします。

藤原信一兵庫県企業庁地域整備振興課長

地域整備振興課長の藤原です。どうぞよろしくお願いいたします。

お手元の資料1のほうをお開きいただきたいと思います。緑色のA3の資料を見ていただきます。

こちらのほう、Ma a Sの実証実験を紹介しているパンフレット、チラシになります。この概要につきまして私のほうからかいつまんで説明させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次世代モビリティを活用した西播磨のMa a S実証実験ということで、先月25日から開催させていただいております。期間は年明け2月10日までです。この間、公園都市内をフィールドとして実験をするところがございます。

この公園都市内では交通の利便性が不十分なところもありまして、モビリティを使って利便性を上げていきたいということと併せまして情報を発信するMa a Sをうまく使っていきたいということを組み合わせてまして今回の実験を行おうとしております。

今回の実験は昨年と引き続き経済産業省のご支援をいただきながら行います。主催は、神姫バス、ウエスト神姫、バス事業者関係と地元3市町様、あと県立大学、あと名古屋大学等々の機関と連携してやっていますところでは。

今回は公園都市内の企業の協賛をいただきまして今回の実験を行うこととしております。

中ほどを開いていただきまして、実験の中身を紹介させていただきます。

中心のスマホに書いてありますMa a Sをベースにして乗り物の予約ができたり、スマホをプラットフォームにしていろいろな情報を伝えていきます。

まず1つ目、左上の超小型EVと電動キックボードをシェアリングしていくという取組をしております。公園都市で9時から17時の間で写真にあるコムスという1人乗りの小型の電気自動車。あとイーコンのキックボード。これは公道を走れるナンバープレート付きのもので、シェアリングサービスで利用いただけます。都市内に住まわれている方につきましては無料、それ以外の方につきましては30分300円という有料で今回は実験をしています。

昨年度も同じような実験をしてきましたが、昨年度に比べるとスタッフの手間を何とか省いて実装に近づけていきたいと考えていまして、利用方法のところに書いていますようにキーボックスというのを設けて無人で鍵の管理ができ、スマホで申込みしていただきますとキーボックスの開錠番号が通知されて、鍵を取り出せるような形でスタッフの手間を省く取組をしているところです。西播磨Ma a Sアプリをダウンロードしていただき利用できます。

2つ目がデマンド交通による移動サービス。こちらにつきましてはスタートは赤字、先月25日から一月弱ということで、あと1週間となります。デマンド交通、写真にあるようなハイエースワゴンを予約をしていただき都市内のミーティングポイント34か所、ミーティングポイントからミーティングポイントまでの移動を予約いただけます。こちらのほうは無料で利用いただけます。

その下にありますグリーンスローモビリティ、時速20キロ未満で走る、定時定路線、1日6便でルートと時刻表を設定しています。都市内を周遊する形で、予約なしで、乗っていただけます。

右下にあるルートは、赤線、青線、緑線、に沿ってグリーンスローモビリティが走ります。三角印がグリーンスローモビリティのミーティングポイントを設定しています。

右上へ行きまして、都市内のグルメ情報などをお伝えすることを考えております。このMa a Sの中にテクノ界限さんと連携して、Ma a Sの画面から都市内の情報を見ることができます。

テクノ界限さん、非常にきれいなホームページを作っていただいております。Ma a Sの紹介をしていただいております。一度ご覧いただければ非常に分かりやすいと思います。

その下にあります、観光ツアーを今回取組をさせていただきました。土曜、日曜限定で、相生駅から路線バス往復の交通費、小型EV、キックボードの利用料金、昼食も含めて3,000円というパックで販売をしています。これらの利用者を増やしながらまちの魅力も発見していただきたいという取組をしています。こちらにつきましては、神姫観光さんにご協力いただいております。

あと、シェアリングサービスのスタッフにつきましては、下の写真にありますけれども新しく造りましたバス待合所にスタッフが常駐して対応しています。

12月22日までをメインの期間としておりまして、その間はスタッフが常駐して観光案内をさせていただく流れになります。その後、小型EVとキックボードのシェアリングは2月10日まで続きますけれども、その間についてはスタッフがいない形で運用していきたいと思っています。

裏面は、お知らせ関係です。光都てくてくマーケットは毎月開催しております。結構なにぎわいを出していきたいと思っています。1月については第2土曜日に開催させていただきます。

その下、ドローンの的当ては先日の11日に開催しました。その左側にありますアイドルシェアリングの取組。これは新しい取組で、小型のEVとキックボードを平日に企業さんですとか施設さんにお貸しして、会社が休みの日曜日には一般利用するという取組。アイドル時間といい、使っていないその時間についてシェアをしようという取組をしています。これにより、新しい交通の導入を少しでもやりやすくする、事業の採算性を上げていくという取組をしています。

その下にあります交通結節点、光都バスセンターですが、今年の初め、4月にトイレは報告させていただきましたが、今回併せまして待合室、コミュニティスペースが完成し、11月25日から利用

していただいております。

こちらにつきましては、資料3のほうで説明させていただきたいと思います。

資料2、縦長の資料をご覧ください。

こちらは25日からのグランドオープンに先立ちまして、その前日24日の日に報道機関向けの内覧会開催の案内となっております。写真にありますとおり、ターミナルを中心にその南側に、交流スペース、待合所、トイレ等を整備したものでございます。

資料3をお願いいたします。

バスセンターと併せて先ほどの建物関係を大きく写真で並べております。山の麓、渡り廊下で繋いであり左手のほうがバスの待合所になります。右手のほうが交流スペース、コミュニティスペースとなっていて、その下、手洗いできるような水廻りラボを造っております。

手前にHSGCと書いてある建物がトイレです。播磨サイエンスガーデンシティの略称イニシャルとなっています。

右下に写っている写真が山の麓から撮ったものですが、ビオトープのたまっていた泥をさらえまして、水面が綺麗に映っています。ガラス張りの建物と併せまして開放感があって一体感のある整備ができました。

資料3の裏面には各建物の紹介をさせていただいております。

バスの待合所は、どなたでもご利用いただける待合室といたしまして、テーブルですとか椅子も設けております。あと、ソファ室ですとかワークスペースも設けております。こちらは今日も運営しますのでご利用いただけます。

左下にありますコミュニティスペースは、バス利用者のみならずキッズスペースを設けております。また図書コーナーを設けて、市町さんから頂いた書籍を閲覧できます。このほかにレンタルスペースを設けております。あとはキッチンコーナーを造りまして、有料になるんですけども、活用いただきながらこのまちのにぎわいに寄与していければなと思っています。

トイレは多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレという形でできております。女子トイレはパウダーコーナーもあり使いやすくなっています。トイレにつきましては24時間オープンしております。

最後、右下ですけれども、水廻りラボになっております。芝生広場で遊んだお子さんや、里山で作業していた方も手洗い、農具の洗い場として利用できます。

以上、Ma a S実証実験と交通結節・交流拠点について説明させていただきました。

ありがとうございました。

山本 実会長（たつの市長）

先ほどの説明に対しまして、何かご意見等はございませんか。

はい。

楠 明廣議員

11月25日から2月10日木曜日までということで超小型EV、電動キックボードと4番の都市内のグルメ情報などが11月25日から2月10日という日付が書いてありますけれども、休みなしでやられるんですか。

藤原信一兵庫県企業庁地域整備振興課長

年末年始、シェアリングサービスについてはスタッフが付いてやっていたので、12月29日から1月4日の間についてはシェアリングサービスはお休みさせていただきます。都市内グルメ情報

につきましては、ホームページに載っているものですのでやめるというものではないですけども、弁当の宅配サービスについてはできない形になります。スマホで見ていただく分については載っているという形になります。

楠 明廣議員

こんなことを言ったらまた私ら関係ない、知らないと言われても困るんですけども、ここの支援センターのホテル自体、年末の28日から1月3日まで休みです。

まちづくり事務所がこのテクノのいろんなイベントを計画されて進めておられるかどうか分からないけれども、どういった活動をしているか一切分からないんです。

前も藤原課長に電話させてもらったけれども、いろんな問題があります。まちづくり事務所じゃなくてまちつづし事務所です。こんなことを一般の人から聞きます。

この前も大西所長。前向きに計画されているということで、あなたに礼を言ったけれども、ここのまちづくり事務所の所長でしょう。そこにおける副所長も一緒や。あなたがそもそも前向きに所長がやろうと言っているのをあなたが止めているんでしょう。そういうふうには受け止められない、一般の市民から話を聞いたら。

藤原課長、私今までこんな怒ったことないでしょう。前向きに地元の発展のために取り組んでいっているんです、みんな。この前もボランティアの方の団体がスーパーカーを持っている方が、ほとんど元警察官とか会社の社長、企業の社長なんかみんな集団で集まって、普通この近辺でするのは大体2~300台集まるんです。大きくいけばもう800台、1,000台と集まるんです。その企画で言っていたんですけども、担当者がもうこれ気に入らないのかどうか知らないけど、私も横で聞いていたけれども、電話でも全部何とか計画をやめさすようにやめさすように、感情的にさすようにさすように持って行って。だけでも県内の方がこっちに来てもらえる、まちづくりのために売出しをかけるために一生懸命になってもらっているんです。その声をこの場所ですということまで前回、去年の今頃の、ここの上の議会でも言ったとおりに芝生広場でやると言っていたのをこれも却下されて、そこの芝生広場を使うに当たっての同じ金額で西播磨県民局の隣を借りたんです。同じ金額で、あのデコボコのところ。

その借りる人にこれを使ってもらったらまた元に戻してください、元に戻してくださいよと。その方はあまり見ていないから見に行かれたんです。するとデコボコなんです。なぜかといったら前に農機具屋に貸していて、そのときに来ていた一般の方がうちの知り合いにいてそのときも見に行ったんですけども、雨が降って途中でやめられた。そのとき機具なんかを載せるときに大型のトラックとか動いておるからデコボコになっています。その方に借りるに当たって整地してくださいよと言っておきながら、見に行ったら、話が違いますねということで言ったら、いや、見ていないから分からないとか、管理していないから分からないとか、こんないいかげんな人がこのまちづくり事務所にいるんです。

これは公務員法で分かっているでしょう、公務員の服務規律。確実に信用をなくしておりますよ。これ、企業庁の下になるのかな。

山本 実会長（たつの市長）

楠議員、今は次世代モビリティの先ほど説明されたことに対しての質問ですので、その他でしてください。

楠 明廣議員

その他でやります。

山本 実会長（たつの市長）

ほかにご意見等。
どうぞ。

井口まさのり議員

この施設ができるということは非常にありがたいんですけども、この管理は誰がされているんですか。

藤原信一兵庫県企業庁地域整備振興課長

企業庁から神姫バス、ウエスト神姫に管理委託をいたします。

井口まさのり議員

バスが一番いいのかもしれませんが、地元、たつのはたつのNPO、それから上郡には上郡のNPO、地元、地域の人もこういった場所で活躍できるように神姫バスだけでなく一般の方が、たつの、上郡、佐用の方々が管理できるような体制も今後考えていく必要があるんじゃないかと思うんですけども、その辺についてどう思われますか。

藤原信一兵庫県企業庁地域整備振興課長

企業庁と直接契約するのはウエスト神姫となるんですけども、その中にレンタルするスペースがありますし、実際にその施設をうまく使ってすぐに活用していただくというのは地元の方も含めていろんな方の協力が必要かと思えます。そういう部分については、ウエスト神姫との契約の中で取り組んでいくような形を予定しておりますので、実際にどのような方に協力いただけるかというのはそのウエスト神姫を通じて、また企業庁も入ってという形になるかもしれませんが、いい形を探りながら、試行錯誤もあるかもしれませんがやっていきたいなと思っています。

井口まさのり議員

ありがとうございます。

山本 実会長（たつの市長）

どうぞ。

横田 勉議員

今説明がありましたMa a Sの実証実験ですか、大体今のところ中間的な期日かなと思うんですが、スタートされてこれまでにいろんなことをされておりますけれども、そちらのほうとすれば経過的に今現在どうなのか、そのあたりの思いをお聞かせ願いたいと思います。

藤原信一兵庫県企業庁地域整備振興課長

11月25日から始めさせていただきまして、今現在、昨日時点で確認した数なんですけれども、Ma a S、スマホで登録してもらっている方の人数でいいますと、251名の方がスマホに登録をいただいています。

あと、小型のEVですとかキックボードを利用していただいた方は、約90名の方に利用していただいているという形になっています。そのほか、まだ数字としてはまとまっていないんですけどもデマンドバス、グリーンスローモビリティ等々にも乗っていただいている状況かと思えます。

あと、観光ツアーをやっているんですけども、こちらにつきましてはPRが不十分だったのかもしれないですけども利用が低迷している状況になっております。

あと、お弁当の配送という形もやらせていただいているんですけども、こちらにつきましては徐々に広がりつつある、一定数は注文があるんですけども徐々に広がってきているという状況かなと思っております。

3週間経ったんですけども、思っていたよりは利用が少ないかなという私自身の感想としては思っています。昨年度、ちょうど今年の1月ですけども登録者が400名ありました。昨年度は理化学研究所の構内でキックボードが使えるということで理研の方がかなり、半数近く登録いただいたんですけども、今回は芝生広場の方が中心になっているということもありまして、その部分を取り除いたら特徴出ないのかなというふうに思って、今後シェアリングサービスは続けてやっていきますので、都市内の方も含めて周辺の方に登録いただいて一度体験していただけたらなというふうに思っています。

以上です。

木南裕樹議員

以前から同じ質問なんですが、グランドオープンされたということで、各空港とかの乗り入れの関係、現状はどういう感じで、外から来られる方がこれを利用されたり、またはこちら辺に住まれている方が利用するための拠点としてそういう高速バスですとか、長距離バスとかそういったものがある程度あれば利用者も増えるのかなと思うんですが、そのあたりの現状を教えてくださいませんか。

藤原信一兵庫県企業庁地域整備振興課長

まず、バスを考え、導入していきたいということでバス会社のほうと協議は進めておりますけれども、前回もお話しした状況とあまり変わっておりません。コロナの関係で非常に経営体力が落ちているということがありまして、バスの新たな運行については厳しい状況になっています。コロナの回復を誘いながらその協議を進めたいと思っております。

一方で、利用者のほうなんですけれども、今現在、実証実験をやっている関係もありまして市外とか県外からも結構視察の方が来られています。そういう方の登録というのが一定数ありまして、その方が直接ここで使うわけではないと思うんですけども、そういう県外からの利用者の方もありまして、利用者の登録されている方もありまして、この取組というのはほかの地域の参考にはなっているのかなというふうに思っています。

高速バス等を早く導入できるように協議していきたいと思えます。

以上です。

木南裕樹議員

ぜひお願いしたいと思うんですが、それと共に利用者の方がここを利用されるというところであると駐車場のスペースがないと、この拠点だけあってもまずそこに車を置かなきゃいけないと、前に西播磨県民局さんの西側でしたっけ、そちらを自由に使っていただいたらいいという話はあるんですが、そこら辺というのは周知がなかなか分からない部分があると思うんですが、そのあたり、もう誰でも置いていいんだよというような形の看板を置くですとか、もしくは整備をするとかそういった形をし

ないとどこに車を置いていいのかというところの問題があると思うんですが、そのあたりについてどのように考えているのでしょうか。

藤原信一兵庫県企業庁地域整備振興課長

現時点では整備できておりませんで、バスの誘致もまだできていない状況ですので利用者が増えていないのかなと思います。

今後、バスを誘致して利用者を促進していくという観点からいきますと、駐車スペースの案内が必要かと思しますので、ご指摘がごもっともかなと思います。それは併せて考えていきたいと思ひます。

山本 実会長（たつの市長）

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

山本 実会長（たつの市長）

それでは、次に行かせていただきます。

次の3、議員視察研修について、事務局より説明をお願いします。

西谷一徳事務局長

〈事務局説明〉

山本 実会長（たつの市長）

説明に対しまして、何かご質問等がありましたら。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

山本 実会長（たつの市長）

そしたら、次に行かせていただきます。

次の5番、その他に移りますが、先に事務局のほうより説明をさせていただきます。

事務局、お願いします。

西谷一徳事務局長

失礼いたします。

8月の新都市協議会の際に井口議員より新都市協議会の流れ、事前通告などについての時間配分についてのご提案をいただいたところでございました。

本協議会につきましては、播磨科学公園都市の建設、運営に関しまして、構成市町、それから兵庫県等の関係機関との連絡調整を行うことを目的としてございます。主に組合からは決算概要でありますとか当初予算概要の説明をこの協議会においてさせていただいておりますし、企業庁からはこのまちに関わる企業庁が推進する事業について説明をさせていただいているところでございます。それを受けまして、このまちのまちづくりについては議員の皆さんよりご意見を賜っているところでございまして、今後につきましても協議会の議事や進行につきましても会則の目的に沿う形で皆さんからご意見をいただきながら限られた時間とはなりますが進めていきたいと考えておりますし、この協議会の後、議会開会の招集時間の関係もありますので進行がスムーズに行えるようにということで、協議会の終わりには次回の議題などを提案していただくなど委員の皆さんからのご協力をいただきながら進めていきたいと思ひますのでご理解をお願いしたいと思ひます。

井口まさのり議員

前回の質問の答弁をありがとうございます。

この協議会自体が播磨科学公園都市の建設、運営に関して構成市町や企業庁との連絡調整を行うことが目的ということでさきに説明もされましたけれども、私もこの組合の議員になってから長いんですけども、要望や意見交換ができる場としてこの新都市協議会があると考えてここで企業庁さんに質問するんですけども、前回のときに水埜公営企業管理者は来賓というご紹介なんですけど私どもはこの新都市について半分当事者のような形なんですというようなことを言われたんです。どっちか分からない人に質問をしていくというのは、特に来賓である立場なのであれば来賓に質問をするというのは非常に失礼な感じがするので、逆に自動運転実証実験やまちづくりなどを企業庁が進めるという意気込みもあると思うし、その中で来賓じゃなしに当事者なんじゃないかなと思うんです。

立場が中途半端になったらこちらも質問する内容も非常に難しいものになってきますので、ですから来賓なのか当事者なのかはっきりしてもらいたいと思うんですけども、答弁をもらってよろしいですか。

上田浩嗣兵庫県企業庁次長

私も来賓とは思っておりませんで、もちろん当事者と思って参加させていただいておりますので、何か知らんけど来賓ということになっていてああいうご挨拶になったんですけども、組織上どうなっているのか分かりませんが。

楠 明廣議員

言いますか、よろしいですか、経過を。

以前は3町協ということで新宮町、上郡町、三日月町、この3町で運営している協議会だったんです。それが途中から県側にも出席してもらおうという依頼をかけてこういうふうな形になったというのが現実です。これは合併する前から。

井口まさのり議員

ありがとうございます。

今の現状なんですけれども、楠議員はもう当初からおられているから全部のことをよく理解されておると思うんですけども、来賓という立場と当事者という立場は全くもって別物だと思うんですけども、それが中途半端な状態で来賓なんですか、当事者ですか、当事者だと僕は思うんです。ですから、西播磨県民局ももう当事者やという気持ちでまちをつくっていかないと、来賓という立ち位置で本気にやれるのかというところで企業庁と西播磨県民局は当事者という気持ちでやっていただきたいと思うんです。来賓についてはこの地域の県議会議員であつたりとかそういう方々が来賓であつて、当事者という立ち位置を取っていくべきだと思うんです。

今、水埜管理者がいない中で質問しているわけなんですけれども、そういう気持ちでやっていただきたいと思うんですけども、再度答弁をいただいてよろしいですか。

上田浩嗣兵庫県企業庁次長

そのつもりで取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。県民局もそれでいいですね。

円増万司西播磨県民局副局長

はい。

井口まさのり議員

ぜひそのつもりでよろしくをお願いします。

それからもう一点は、水埜管理者が前回のこの協議会の中で県知事が新しくなりましたので、ひょっとしたらこの今の事業が切り捨てられるんじゃないかというような心配をしているということをごここで言われたわけなんです。9月議会までには知事の方針を、このテクノに関しての方針をしっかりと出してもらうというようなことを言われておりました。

今、最初の挨拶のときに少しは説明を受けたんですけども具体的な説明がなかったもので、このテクノをどのようにしていくのか、この科学公園都市をどのようにしたいかというような話はまだ一切されていないんですか。

上田浩嗣兵庫県企業庁次長

先ほど聞き取りにくかったのかも分かりませんが、まだ決まったものはありません。そして、行財政運営方針が近く発表されますので、その中に企業庁の取組といいますか、やり方が出てきます。そこに先ほど私が申し上げたとおり企業庁のビジョンでありますとか総合経営計画に基づいて黒字を目指しながら自立、安定した経営改革を推進するというようなことが書いていまして、それが特にそれぞれの個別の、ここではテクノであったり三木だったりそれぞれの地区でやっているんですけども、その具体的なことはまだ決まらないというような状況でございます。

井口まさのり議員

決めていく中でも、先ほども、もうしつこいように言いますけれども来賓という立場で知事と話すのではなく当事者という立場でこのテクノをよくするんだという気持ちで知事と話していただいて、知事の方向性、今まで以上にこの新都市に力を加えていただくということでやっていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

山本 実会長（たつの市長）

よろしいですか。

井口まさのり議員

はい。

楠 明廣議員

今いいことを井口議員が言われましたけれども、そこで出てくるのがまちづくり事務所です。

それで、まちづくり事務所というのは大体何人体制で動いておられるんですか。聞いたところによると9人ということを知っているんですけども。その当時の話で、先ほどの続きの話で言うと非常に人数が少ないものだから、なかなか人が回せないとか、動きが取れないと知っているんですけども、それが動きを取っているという現実、それが全然一切分からないんです。

光都にある企業がまちづくり事務所へ、情報提供をしています。暴走族がたむろして道路上にはタイヤの跡をつけたり、いろいろごみを捨てているとかいろんな情報がそちらのまちづくり事務所に入っているにもかかわらず、それはたつの市が管理しているからたつの市に言ってくれた言葉を出し

てみたりもういろんなことがあるんです。結局は組合から、新宮の総合支所と連絡を取って、総合支所の職員が来て掃除したという経緯があるんです。

当然このおおもとのまちづくり事務所は、自分のところが謝るのが嫌なんです。謝るの全部こちらの播磨高原広域事務組合です。こちらが全部謝っているんです。

そういう情報とか、県民局の前の土地使用に当たり、今の続きですけれども農機具屋には後々のデコボコしているにもかかわらず、後で検査にも入らずそのまま放置しているんです。そのとき見られた方が、何で前の使用者から確認されないんですかということを探ねたら、人間関係ができていうことを担当者が言っているわけなんです。大西さん、あなたじゃない、担当者が言っている。民間のその借りている人と何か人間関係があるんですか。年に1回、借りるか借りないかでしよう。これ悪いように取れば何かあるんじゃないかなという取り方になるんです。

議員も一緒です。議員の倫理の中でそういうふうな疑われるようなことはやめましょうということがありますがけれども、この方はあらゆる問題に対して否定していつているんです。何がまちづくり事務所ですか。一般の人はそれで不安になっているんです。こちらのいいところをみんなに見てもらって楽しんでもらって、他府県からも来てもらって楽しんでもらうまちにしたいと頑張っておられるにもかかわらず、この人たちは全部潰しています。

聞きますけれども、今の続き、大体何人ぐらいおられているんですか、まちづくり事務所。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

失礼します。まちづくり事務所大西です。いつもお世話になっています。

正規職員は4人です。非常勤嘱託員が5人です。あと、特別職の職員が1人です。普通にいます職員は9人という形になっております。

楠 明廣議員

まちづくり事務所は日に日に何をされているんですか。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

ここのまちづくりの推進ということでございます。今は、一番メインの事業は、藤原課長から説明申し上げましたM a a S関係の次世代モビリティ、EVとかキックボードの実証実験です。これが一番大きな事業となっております。その前は、もう一つのコミュニティスペース、バス待合室の整備工事とかを行っておりました。

日々のルーティンといたしましては、楠議員がおっしゃっておられます企業庁が所有しております施設の管理ですとか芝生広場の貸出しですとかそういった地域の皆様が活動をなさることへの支援をさせていただいております。あと、経理事務ですとか内部的なことはもちろんしておるところです。

そのほか、ルーティンの工事といたしましては、まちの整備がございまして、ここの開発、昭和の終わりから始めましてまちびらきしてからもう20年経つんですけれども、企業庁有地がまだ残っておりますので、その緑化保全ですとかに努めているところがございます。春先になりましたらいろいろ木々が伸びて住宅地からの張り出しがありまして、木を切ってほしいということもございまして、物理的なまちのハードの環境整備もさせていただいております。

最近でしたら、まちづくりというソフト事業につきましては、今紹介もございました光都てくてくマーケットというものが定着してまいりまして、住民の皆様中心に主催で毎月土曜日にイベントをしていただいております。ドローンの普及ですとかそういったソフト事業も住民の方々にしていただいているところがございますので、そういったことへの支援というようなこともさせていただいております。

ます。

楠 明廣議員

芝生広場、令和3年度、この4月以降から何件使われたんですか、細かく教えてください。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

ごめんなさい。今データは持っていないんですけども、毎月イベント情報を出しております、芝生広場はコンスタントに使ってくださっているところは、主にはBUS亭さんといましてカレー屋さんのキッチンカーなんですけれども、そこが毎週火曜日と土日と入っています。芝生広場の使用でコンスタントに使ってくださっているのはそこが一番多いです。

それから、先日でしたらボーイスカウトの皆さんがこれは専有ではなかったんですけども、芝生広場で活動したいというようなことがありまして使われている例がございます。

楠 明廣議員

どちらも私が知っていることなんです。

BUS亭は私どもの地域の方がやっているの、ここの今やっている車の関係もみんな一緒なんです。これは全部前からやっているんです。それでそこをよく分かっているんです、内容的に。ボーイスカウトがこの間、企画したときもやっていた、実際。ただスペースは少ないです。しかし、そこ一緒になってイベントをやるというのは誰が考えてもやめたほうがいいだろうという話の中で、そこを借りる金額と同じで県民局の隣、あれを貸しますか。

それも、行ったときに前日かその前の日にそれまでにお金を納めてくれと、じゃないと駄目だということで、雨が降ったらどうするんですかと。雨が降ったら没収ですと。それで言うことだけは言って、車も入ってもらうのはよいけれども、ぼこぼこになったらそれは全部直してくださいよと、それなら何でこういうふうになっているのは直さないのかということ指摘したにもかかわらず、それは人間関係で一切直していない。それを指摘したらこの方たちが2人か3人か知りませんが10平米、10平米もないのか、私も見に行ったけど10平米もないですよ。事務局長にも行ってもらったんです。証人として一緒に見ておいてくれということで来てもらって総務課長にも来てもらったりしてみんな見ってもらっているんですけども。フェラーリの5,000万円とか1億円するものとかそんな車がたくさん来ている中で気の毒で。10センチ以上のトラックが通った跡、雨が降っているから、そのままならしていないので固まっているんです。そういうところばかりで走るところがないのを、あの方はどない言われたか。なるべくそういうところと違うところを通ってくださるかほかのところでやってくださいと言っているんです。それをのけたらほとんどするところがありません。

それを芝生広場と同じ金額を取っているんです。でしたら、取ったお金を何に使っているんですか、所長。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

失礼します。

徴収金額、貸付けということになるんですけども、根拠は企業庁の公有財産取扱規程というものになります。我々企業庁ですから知事部局でいうところの県の公有財産の取扱規則でございます。その企業庁の公有財産取扱規程の中で普通財産の業務財産につきましては全てにつきまして一時使用の場合、1日1平方メートルについて2.6円ということが決まっております、たとえば山の中であろうとどこであろうと公有財産の普通財産の貸付は1平米2.6円で、このたびは5,000平米をお借りいただきましたので1日1万3,000円を頂戴いたしましたところです。

天気が怪しくて雨が降るかもしれないということを非常に心配しておりまして、ぎりぎりまで待つて実施するか中止するかという判断をされるということでしたので、こちらも納入はぎりぎりまでお待ちしたところですし、こちらが考えておりましたのは、最悪、後納という形も取りたいなと思っていてところで、払われるまでには申請者に私に電話くださいとお願いいたしまして、そのとき二人でお話ししたいと思っていました。30%以上の降水確率だったらされないというふうに判断をするということでした。天気予報が30%未満だったので決行するというをおっしゃいまして、それで1万3,000円お納めいただいたところでございます。

この1万3,000円につきまして、芝生広場につきましてはいろいろ考えまして何とか使えるのかどうかということで県の長年公園等の管理をしていた元県職員、OBなんですけれども、その芝生の生育とかに詳しい人を探しまして一度見てくださいと頼んで実際の芝生を見てもらったところなんです。芝生の図面等も見ていただきまして、ここの芝生は山を削って造成したところで切土になっております。すぐ下が岩盤という形でごつごつした岩が……。

楠 明廣議員

待つて。その話、どこの話をされてますか。それ、私が今言ったことに答えてください。それ芝生広場のことを言ってるのと違います。芝生広場のことを言っていないでしょう、県民局のこちらのことを言っているんです。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

県民局の土地につきましてはあそこは業務用地でございまして、産業用地とか業務用地とかあるんですけれども、貸付額につきましては全部普通財産で統一で一律の金額だということと、整備につきまして駐車場ではないので規則には原状回復、使用後の原状復帰ということではありますが、どなたにもそこまで厳しく求めていないのが現状でありまして、申請者にもお話しさせていただいたんですけれども、原状復帰の一般的な説明をさせていただきましたら、400台のクラシックカーを入れるための白線を引くということでした。白線は消していただかなくても別にそのまま結構ですのでということでお話はさせていただいたようなところがございます。

楠 明廣議員

皆さんがその場所を分かっておられるかどうか分からないけれども、要するにデコボコなんです、そもそも。そういうところでお金を取って、ほんなら農機具屋のほうは整備はしていない。そこまでそれをあなた方は何にも管理していない。見に行っていないでしょう。当日、もしかしたら会えるかなとかということで見に行かせてもらったんです。当然高原事務組合の局長も来てもらって見たら教えてくれというようなことで言っていたけれども、あなた方は来ていないでしょう。一切。何を管理しているんですか。

その前にも、ここの県民局のトイレは使わないでください。バス停のところは新しくトイレができていますけれどもこれも使わないでください。使いたいのであれば向こうの昔からある入り口、そのマンションのところの信号を入れて左側、その角に昔からあるトイレがあるんです。ここを使ってください。いや、それはいいですけども、言い方もあるんです。

これを言われたの担当者です。せやから本人さんがあまりにもあれやから、管理もできない。あまりにも厳しいことを言われるからそういうふう言い返したら何を感情的になっておられるんですかと言って、あなたが感情的にさせたんでしょうというような話で内容的なものを聞いているんやけれども、そんなもんでいいんですか。力いっぱいこのまちをつくろうということやっておられる方に、

それで前回は芝生広場のことで、私、担当者に言うたところ、ああそうですか、また前向きに検討させていただきますと言っていたにもかかわらず、今回はボーイスカウトが入っていたからしょうがないということは分かりますけれども。

これ前も言いましたけれども、他の都道府県で芝生広場を持っているところはどこともが枯れる時期なんかはほとんど車の乗り入れもよくしているんです。若い子が乗り入れるんじゃないんです。当然今も言ったようにロータリー族のような人はもう大体無断でやりますからそういうものだったら誰でも駄目やということは分かりますけれども、もう根からやっけてしまいますから。普通クラシックカーで芝生がついただけでも普通嫌なんです。雨降りに乗らない人がほとんどなんです。そういった方がそこへ来られるんです。もう草だらけです、芝生の。それはここまで来てそんな嫌味なんかは誰も言っておられる方はなかったように思いますけれども、本当に私にとって気の毒だったのがレクサスでも2, 500万円ほどする車がこんなデコボコのところに入ってきて止めているんです。もうこれぐらい段差がありました。写真を一応撮っているんですけど、持ってませんか（組合事務局側へ問うように顔を向けられるが）、持ってない。

そんな感じであまりにも気の毒で。私らもこの高原に上がっているということも知っておられるんです。普通であれば、井口議員も言ったように同じように前向きに考えながらみんなが協力しよう、お金がないのであればない、その方向でみんなの努力でやっけていこうじゃないかというようにやっけていくんです。

だけど、この方は前回この水仙の話、私やりますと言って、私この方に今も注意したんですけれども礼を言ってしまったんです。ありがとうございますって、副管理者、前回。ほんなら、1メートル幅で10メートルほどにグリーンネットをしてはるけれどもこれをしましたと行って、違うやろうと。こんなもんで誰が喜ぶん。あまりにも考え方のレベルが低過ぎる。私が言っていたのを前回聞いていなかったんですか。中央交差点の、なおかつ南向きの斜面、それでマンション側とこちら側のストークヒル側のこっち側の駐車場がありますけれどもその斜面を利用して水仙、これはもう何回でも言いますけれども一度植えておけば後々手入れする必要がないんです。そういったもの、一度植えれば勝手に生えてくれるから後々の管理もあまり必要ないんです。そういったことを言って分かりましたということだったから信用して、副管理者、私、副管理者にも礼を言いました、ところがこういうことでもう裏切られた気持ちで、あまりにもレベルの低さにもう情けないなと思って。

必要なんですか、まちづくり事務所。別にゴッつ仕事をしたいように言われたけれども。まだ話終わってへんねん。

せやから、もっとあなた方、あなたはまだ今年4月から来て間がない。それがあのかきはまともな形でやろうという気は出ていたけれども、今全然やる気がない。きれいごとでこんな文書でネットでホームページで出してはるようなことを大体並べ立てて言ったようなことで、結局詳しいことを聞いたらBUS亭とボーイスカウトしか言わない。もっと思いが、自分が見ているんだったら苦勞して頑張ったことだったらそれだけと違うでしょう。BUS亭さん来てくれるんです。よう来てくれるから、あの子ら一生懸命頑張っておるけれども。

ボーイスカウトも毎月来たりしていない。だけどこの農機具屋さんというたら大体年に何回やっけてくれるんですか。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

1回。

楠 明廣議員

1回、それは答えてもらったらいんですけど。1回で人間関係がどういうふうにできているんですか、寺本さん。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

失礼します。

楠 明廣議員

あなたに聞いてない、寺本さんに聞いている。人間関係ができているといたらどういうこと、信頼の上で。

寺本達也播磨科学公園都市まちづくり事務所副所長

担当者（前まちづくり事務所長）は4月から専門員になられまして、まちづくり支援専門員という形でまちづくりをもっと力を入れていこうということで組織を拡充していただきまして、先ほどから議員がお話のやり取りの中で出てきました専門員が電話でやり取りをされておりまして、すみません、私も横におりましたので、直接のやり取りはさせていただいていないんですが、先ほど言われたのを耳にしておりました。

農機具屋さんとの関係につきましては、私のほうでは分かりかねるのでお答えが難しいです。すみません。

楠 明廣議員

そこで問題なのは、年に1回しかしないそういった農機具屋、過去に何年やっているのか分かりませんが、何の信頼関係が生まれるのかということです。どこの農機具屋が分かりませんが、

どこの農機具屋と接触があるのかということです。またそれを教えてください。また一度、農機具屋へ連絡を取って話をしてみるけれども、どういう信頼関係があるのかということで聞きたいと思います。

それで、次長、どう思っています。こんな、もうそのレベルなんですよ。せやから、もっと県として管理をよくしてもらわないと、出先の。もっと管理していかないと私らも見放したい、はっきり言って。

だけど、地元の人にまた言われるからそれはないけれども、力いっぱいもっと地元の人にも喜んでもらい盛り上げたいと思っているからこっちも力が入るんです。そんなことがなかったら知らん顔しています。

今後十分よく管理してもらってそういうことがないように、今も言ったように信用失墜の禁止ということで服務規程にあるでしょう。そこに引っかからないように、今後そういうことが一切ないように、今までそういったことは全部前向きに変えていきますという気持ちでやってもらわないと。はっきり言いまして県の信用なんかないですよ。市、町がほとんど直接住民とやり取りをしますからね。その市町のほうが全部こういったことをやっていると思います。県は分からないんです。ほとんど。それも門前払い的に電話でぼんとやってもろたらクレームが全部こっちに入ってきます。

ねえ、事務局長、私が言っていることは間違いですか。

西谷一徳事務局長

ありがとうございます。

おっしゃられるとおり、このまちにまちづくり協議会というのがございまして、住民部会、それか

ら企業部会、それぞれ分かれて企業庁のまちづくり事務所と一緒にこのまちづくりをしていこうということで、そのまちづくり協議会のやり方についても2年ほど前に再編をさせていただいたところがございます。そういうところから、住民の方々、企業の方々もいろんなご意見を持っておられると思いますので、そういったところを事務組合としても吸収しながら関係市町との連絡調整というところを規約の中にも入れましたので、そういう形で前向きな取組はしていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

楠 明廣議員

今も申し上げたけれども、住民とこのまちづくり事務所が接触する機会があるんやけれども、それももう聞く耳持たない状況で門前払いされたということで連絡が入っています。そちらにも入ったでしょう、そういうことなんです。

その点を担当としてきちっとやっていかないと、住民になめられてしまいます。私らまで一緒に。よろしく頼みます。

以上です。

上田浩嗣兵庫県企業庁次長

まちづくりをみんなでよくしようというのは我々も皆さん方も一緒だと思います。

先ほどの芝生の話でいきますと、私が担当から聞いたのは、芝生広場を何で貸さなかったのかと聞きましたら、うちの事務所にしたらこれだけきれいに管理しているんだから一定管理、我々が責任を持って管理しているんだというようなことを言いました。できない、できないじゃなくてどうやったらできるのかというようなことを、例えば出してもらったのかとか、あと議員おっしゃられたように全国でそういう芝生の利用を広げている事例があるとか養生する方法があるとか、例えばもし何かあったときの対応とかその辺を含めてもう少しコミュニケーションを取りながら、人間関係を我々と先生で一緒になってやらせていただけたらと思いますので、どうぞ引き続きご指導をよろしくお願いいたします。

楠 明廣議員

前回にも言いましたけれども、今から芝といたら枯れる時期なんです。枯れる時期にああいうふうなタイヤのあるもので、分かりやすいのが急加速的にぐっと回して根っこまでやるとかというようなことになれば春先になったら障害を与えるか分からないけれども、普通に上に乗って加速しないで行くのであれば問題ないんです。私の家でも一緒です。芝生にずっと乗り入れたりしていますけれどもそのときはタイヤの跡がいきます。めったに車が入れないところと違いまして自分のところだからいろいろ実験もしていますけれども、毎日毎日グリーンのときにやっていたら形は確実に根はやられます。だけでも根が枯れるときというのは休眠状態と一緒に、春先までだったらそういうどんと加速するようなことだけしていなければ問題ないです。そういうことで他のところはやっていると思うんです。

そういった方はいろんなところへ行っておられますから、また調べて状況を教えます。

以上です。

山本 実会長（たつの市長）

どうぞ。

岡本義次議員

その他のことでお尋ねしますが、S P r i n g - 8とかS A C L A、世界的な立派な施設がありますが、その設備ができてから今日までどのような特許を取ったのか、ノーベル賞の近くまで行ったとかそういうことが分かれば教えていただきたいのと、その研究者たちが年に何回かそういう大きな会議でもここでやられておるのかどうかについてお伺いします。

山本 実会長（たつの市長）

分かりますか、分からない。

西谷一徳事務局長

年に1回、そういった会議というのを持っておられるようなんですけれども、具体的にどういったところの特許的なところを取っているかというのは事務局のほうとしては連絡は入ってきておりませんので、また聞いて情報提供できるのであればさせていただきたいなと思います。

岡本義次議員

今度1月に粒子線のがんの治療の視察に行くんですけれども、このテクノにあるそういう病院を充実させて、東南アジア、中国とかタイ、インドネシア、ベトナム等の富裕層をエージェントと組んで100人ほど神戸空港に乗り入れして、そしてここで体のチェックをして、その後、姫路城とか京都、奈良、大阪、というようなところへ繰り出す。ですから1週間から10日ぐらいでそういうことを試みられたらいいんじゃないかと思うんですけれども、どうでしょうか。

西谷一徳事務局長

その辺になると専門的な分野になるかなというふうに思いますので、そこはまた一つの情報として仕入れられた、ご紹介できることであればということでご理解をお願いしたいと思います。

岡本義次議員

もう一つだけ、佐用は産婦人科もないんです。ですから津山のほうまで行かんとあかんような状態で、山本市長にも前にも申し上げていたんですけれどもこのテクノでそういうような一つの病院の中に産婦人科でもつくってもらおうというようなことは考えていらっしゃるのか。

西谷一徳事務局長

私が言うのもおかしいですけれども、病院局と企業庁との管轄の違いもあると思いますが、今日の議員の意見をまた県の中でも情報共有していただきたいというお願いで終わりたいと思いますので、よろしくをお願いします。

山本 実会長（たつの市長）

（兵庫県企業庁に対して）前向きをお願いします。

楠 明廣議員

言い忘れていたんですけれども、この協議会の会議録的なものも作ってもらいたいと思うんです。管理者、会議録。そういったことで、この協議会、この組合の議会でないといけない情報的なものも市民の皆様方に分かるような配布方法も考えてやっていったらと思います。

それと、今のがんの治療施設は今もう日本国内から世界中に粒子線治療ということで神戸でもがんの治療センターが専門でできています。それも今いろいろ保険適用でほとんどできています。海外もたくさんあります。

だから、昔これができたときは珍しかったけれども、今はもうあまり珍しくない。本当はこれを国立でやっておけばよかったんですけども、そのときに県がどうしてもここでやると言っていて、結局初期段階でやっている。昔東海村の被曝事故ってあったでしょう。あのときに千葉のこのがんの治療施設に入院されていた方、ここはみんな助かったんです。それで有名になって、それでこちらハチエフができて、がんの治療施設ということでやっているときに、ほんまはここ、向こうは初期症状なんです。こちらは末期でよかったんですけども、国立だったら末期になっていると思います。ただ県がやったものだからこれ初期症状になってしまいました。それが大きな間違いだった。そういう経過がありました、よろしいですか。また分からんことがあったら言うてください。

山本 実会長（たつの市長）

先ほどの事務局の議事録は作成されているそうでございますので、またご覧ください。

楠 明廣議員

分かりました。

大西 薫播磨科学公園都市まちづくり事務所所長

すみません、2点だけ補足させていただきたいんですけども、先ほど楠議員からアドバイスいただきました水仙の件につきましては今少し芽が出ているところがございますので、来年度、水仙の種の予算をつけてもらっておりますので、もう少し拡大できるかなと思っております。

暴走族の件につきましては、たつの署にお願いいたしまして1か月、毎日強化巡回をしていただいていたんですけども、1か月经ってそんなに増えていないということで、これからは定例のコースに入れていただけるということで、これから週一、二回は巡回をしてくださると聞いております。

今後、まちづくり協議会等の件も併せまして組合、企業庁と共に皆さんのにぎわいづくり、このまちの発展のために尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

楠 明廣議員

これで終わる予定だったんだけど、言われたからですけども。水仙といたらなかなか強くて、案外放置しただけで生えるんです。だから、あなたが言われたのが実験であそこをやってみたいということと言われ、何も実験することなく、お金がないのであれば前も言ったように、今日見たらたつの議会事務局の事務局長がおられます。この方も状況を聞いておられて、もし上でこの水仙を植えるようなことをそのまちづくり事務所のほうから要請があったらみんなでやれるように、1人が10個でも20個でも植えてみんなの力で植えたら早く済むんじゃないかというような提案までしてもらっているんです。

だから、要らん方向に走るんじゃなくて、知恵を使ってみんなが一丸となれるようなことを考えてもらった方がいいんです。横道にそれるようなこと、人に聞かれて悪いようなことはやめといて、前向きにみんなが、ああ、ええことをやってもらったんやと言われるまちづくり事務所、そういうふうになってもらいたいというように考えますのでよろしくお願ひします。

山本 実会長（たつの市長）

時間が15分前ですのでもう1人だけにしますので。

はい。

木南裕樹議員

企業庁がいらっしゃるのでお伺いしたいんですが、光都プラザの空き店舗が多いです。そのあたりをどうしていくんですかという質問を前回させていただいたんですが、その後どのような方針になったのか教えていただけますか。

上田浩嗣兵庫県企業庁次長

今、検討しているんですけども、チャレンジ型の支援制度ということで2年間半額にして、その後、100に戻して、10年過ぎたらまた減免してやっているんですけども、そこを企業庁がもう少し、2年を3年、4年ぐらいに企業庁だけでもやってやれんことはないなと中で話をしているんですけども、それが果たしてインパクトがあるのかなということで、まちのにぎわいづくりなのでできれば、商店街の活性化ということになりますので市町の皆さん方と補助金をどこかで探していきなり一緒になって勉強させていただいて、それから答えを出していただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

木南裕樹議員

ありがとうございます。

前回も少しお話しさせていただいたんですが賃料の問題というものが、この場所に入っていないということになれば賃料をある程度下げていただくのが民間であれば普通だと思うんです。そのあたりを少し、チャレンジを延ばすという期間、そういったものもありがたい話だと思うんですが、ぜひ少しでも空気を置いておくではなくて、入っていただくような取組を柔軟な形で考えていただいて、現存の人たちも賃料の部分がかたしたら大きいのしかかっているかもしれないので、そのあたりもぜひご検討いただきたいなと思います。

山本 実会長（たつの市長）

予定時刻になりましたので、これで本日の予定しておりました協議事項・報告事項につきましては全て終了いたしました。

最後に、事務局より連絡をお願いします。

西谷一徳事務局長

失礼いたします。

それでは、次回の新都市協議会は2月24日午後2時からの予定となっております。

議題としましては、令和4年度の主な事業計画ということで当初予算概要等の説明をさせていただきます。

限られた時間となりますので、それ以外に委員の皆様より協議したい議題等がございましたら事前に事務局までご連絡いただければと思います。

以上でございます。

山本 実会長（たつの市長）

それでは、新都市協議会を閉会させていただきます。

長時間、どうもありがとうございました。

閉会 午後 3 時 1 6 分